

授業展開例(特別活動〔学級活動〕)

1. 学 年 第3学年
2. 主題名 「必要なもの」と「欲しいもの」(希望や目標をもって生きる態度の形成)
3. ねらい グループでの話し合いの活動において、自分の意見を適切に主張するとともに、自分とは異なる意見も受け入れ、尊重する態度を育成する。

【普遍的視点】

人権の概念

- ・ 必要なものと欲しいものとの違いから、人権は人が生きていく上で不可欠なものであることを考察させる。

自他の理解と尊重

- ・ 自分の人権のみならず、他の人の人権も尊重されなければならないことを理解させ、望ましい人間関係を築こうとする態度を育てる。

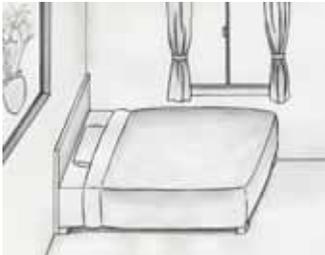
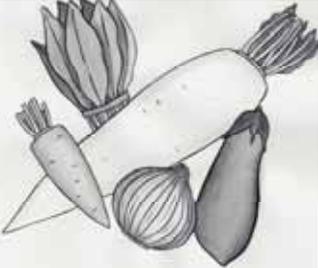
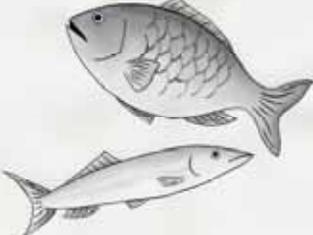
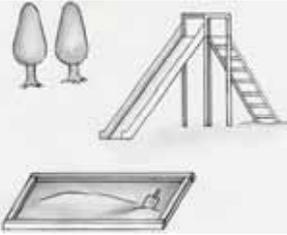
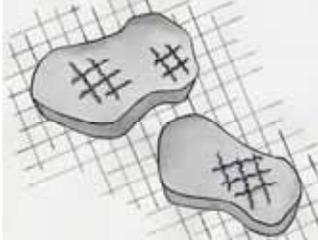
4. 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現
人権について積極的に考えるとともに、自他の人権を尊重しようとする。	必要なものと欲しいものとの違いについて考えることができる。	自分とは異なる意見も認めながら、自分の意見を述べることができる。

5. 展開

	学習活動	指導上の留意点	準備物
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループの中で、一人ずつ自分が今一番欲しいものを他の人に紹介する。 ・ 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">本当にい(要)るものって何だろう。</div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しい雰囲気づくりに努める。 ・ 欲しいものが本当に必要なものかどうかについて、みんなで考えることを確認する。 	
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自で、20枚の「いるもの、欲しいもの」カードを「要るもの」と「欲しいもの」に分ける。 ・ グループで話し合い、「要るもの」と「欲しいもの」に分け、その結果を模造紙に貼り出す。 ・ 結果を見ながら、各グループの同じところや違うところについて全体で話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに、理由とともに記入させる。 ・ 一部の意見ですぐに結論を出すのではなく、グループ全員の意見が尊重されるように留意させる。 ・ 分けた理由を模造紙に記入させる。 ・ 自分たちと意見が違うところなどについて、質問させたり、自分たちの意見を発表したりさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いるもの、欲しいもの」カード ・ ワークシート ・ 模造紙

<p>展 開</p>	<ul style="list-style-type: none"> どのグループでも「要るもの」に分類されたカードの特徴を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どのグループでも「要るもの」と考えたカードを見て、わかったことをグループで話し合い、発表しよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 欲しいものは様々あるが、人が生きていく上で必要不可欠なもの（要るもの）があることに気付かせる。 「要るもの」は、自分だけではなく、全ての人にとって必要であることにも気付かせる。 話合いが進みにくいグループには、ワークシートに書いた分類の理由などを思い出させる。 	
<p>ま と め</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 人が生きていく上で必要不可欠なものがあることをおさえる。 本時の学習でわかったことや感想をワークシートに記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート

水 	ごはん 	くつ 	ストーブ 	ジュース 
電話 	ねるところ 	やさい 	着るもの 	病院, お医者さん 
にわのある家 	本・雑誌 	友だち 	ペット 	テレビゲーム 
さかな 	おかし 	公園 	肉 	エアコン 